

日本開発・製造の次世代型 3.0T。

診断性能の向上と患者様の負担軽減を同時に実現した最新鋭MRIです。



磁場強度の
向上

最新の
撮影技術

検査時の
負担軽減

＜磁場強度＞従来の 1.5T から 3.0T へ

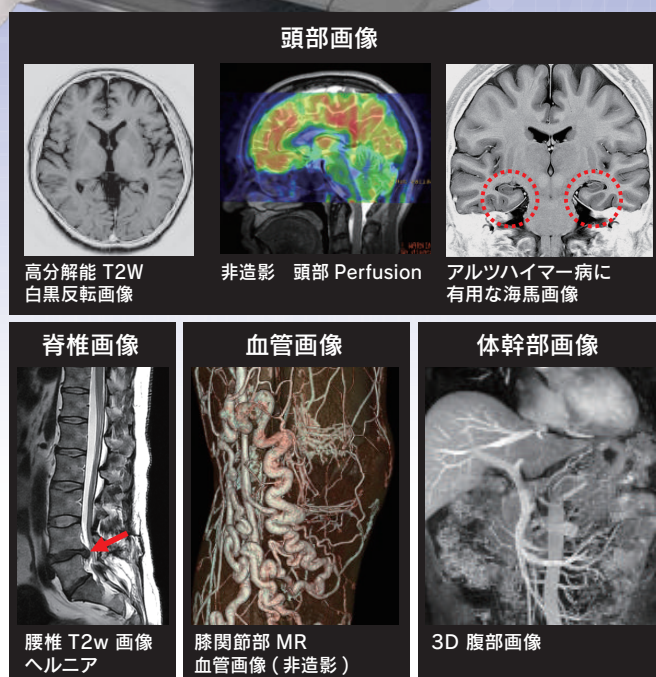
一般的に MRI は、磁場強度 (T: テスラ) が高いほど信号強度が向上し、より高精度な画像を撮影できます。これまでは 1.5T の MRI が中心でしたが、今回導入した SIGNA Pioneer は 2 倍の 3.0T となり、当院では既存の 1.5T 装置と合わせ、現在 2 台の MRI がフル稼働しています。

＜撮影技術＞複数の画像が一度に撮影可能

従来の MRI では、頭部撮影において標準的な複数の撮影に約 15 分ほどかかっていた。最新技術を搭載した SIGNA Pioneer であれば、5 分ほどで複数の画像が同時に撮影でき、時間がかかっていた検査時間を 1/3 に短縮することができます。

＜検査環境＞従来の MRI を覆す快適性

これまでの頭部検査では、工事現場のような大きな音がしていましたが、検査時に音を発生させない独自の技術を搭載したことで、ほぼ無音での撮影が可能になりました。また、従来の MRI の筒の広さは 60cm で圧迫感がありましたが、SIGNA Pioneer では 70cm と大きくなりました。



頭部領域の小さな疾患や整形外科領域、腹部領域など全身各部位の診断に役立ちます。